

ヒヤリハットからストップ不祥事

3学期も半ばを過ぎました。年度末に向け、やり残したことがないようにラストスパートに入っている頃だと思えます。

日々の忙しさの中で、慣れや過信、ちょっとした判断ミスが原因で重大な不祥事が起こりやすい時期でもあります。自分は大丈夫という思いは捨て自らの行動を振り返り、不祥事を未然に防ぎましょう。

□事故を事件にしない

- ・どんなに軽微な交通事故でも、すぐに警察に届ける。
- ・通報せずに立ち去ると、ひき逃げ(当て逃げ)になる可能性あり。

□情報の断捨離をする

- ・危険な情報とそれ以外の情報の区別を明確にする。
- ・また使うかもの誘惑を断ち切り、使い終わった危険な情報を持ったままにしない。
- ・無断所持で紛失すると懲戒処分となる可能性あり。(懲戒処分の指針参照)

□報連相と確認・押さえをする

- ・三人寄れば文殊の知恵。情報の共有は問題解決の第一歩。
- ・これくらいで大丈夫だろうと中途半端な対応は、問題が再燃する可能性あり。
- ・最悪を想定して対応する。

絶対に、学校から不祥事を出さない！